

学期	月	単元名 (教材名) (配当時数)	学 習 活 動 ・ 内 容	評価の主な観点			評 価 の 観 点 規 準	評価のための 判断材料
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能		
1 学期	4 月	深まる学びへ ・世界はうつくしいと ・握手 ・季節のしおり 春 ・学びて時にこれを習ふ―「論語」から ・意見を聞き、適切さを判断する ・漢字に親しもう 1 ・相手や場に応じた言葉遣い 書写 (1) ・身近な文字	・作者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読する。 ・物語や小説を批評する。 ・孔子の考え方を、自分たちの生活と関連づけて考える。 ・「論語」の古典における位置づけを知り、「論語」に親しむ。 ・熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。 ・身近にある多様な文字について調べる。	○	○	○	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うことができる。 ・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。 ・歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。 ・慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・書写作品
	5 月	視野を広げて ・作られた「物語」を超えて ・具体化・抽象化 ・論理の展開を意識して書こう ・熟語の読み方 ・漢字に親しもう 2 書写 (1) ・身近にある文字	・内容や目的に応じて、文章の形態を選んで書く。 ・魅力的な紙面を編集する。 ・説明の順序に着目する。 ・情報発信の意義と注意点を知る。 ・身近にある文字がどのような目的で書かれているか、考える。	○	○	○	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫することができる。 ・論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。 ・書いた文章を読み返し、文章全体を整えることができる。 ・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むことができる。 ・文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立っている。	
	6 月	言葉とともに ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉の釣り糸を垂らす ・語彙を豊かに ・和語・漢語・外来語 書写 (1) ・多様な文字	・表現を工夫して俳句を創作する。 ・言葉について調べたことや考えたことを説明する。 ・俳句の世界に親しむ。 ・描かれた情景、作者の思いを捉え、朗読する。 ・筆者の言葉に対する考えを読み取り、考えを深める。 ・時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉を見つけ、その違いを理解する。 ・文節・連文節の係り受けなどの既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かす。 ・用具や用材、書き方の工夫について調べる。 ・和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。	○	○	○	・語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。 ・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むことができる。 ・文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価することができる。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解し、敬語を社会生活の中で適切に使うことができる。 ・文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かしている。 ・和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
	7 月	いつも本はそばに ・高瀬舟 ・読書を楽しむ ・「私の一冊」を探しにいこう ・ためになるってどんなこと？ ・季節のしおり 夏 書写 (1) ・効果的に書く	・登場人物のものの見方や考え方を捉える。 ・読書生活を振り返り、本との関わり方について考える。 ・読書への興味を持つ。 ・情報をわかりやすく整理して書く。	○	○	○	・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。 ・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。	
2 学期	9 月	状況の中で ・挨拶―原爆の写真によせて ・故郷 ・論理の展開を整える ・聞き上手になろう ・慣用句・ことわざ・故事成語 ・漢字の造語力 ・季節のしおり 秋 書写 (1) ・効果的に書く	・構成や内容を推敲し、主張を明確に伝える。 ・社説の文章を参考に、自分の考えをまとめる。 ・表現に着目し、人間や社会について考える。 ・場面や登場人物の設定を考える。 ・論説を比較し評価する。 ・慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにする。 ・場面や相手に応じた文字の使い分けについて考える。	○	○	○	・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。 ・文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立っている。 ・文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立っている。 ・慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・書写作品
	1 0 月	自らの考えを ・複数の意見を読んで、考えよう ・考えを効果的に伝えよう ・初恋 ・漢字に親しもう 3 書写 (1) ・効果的に書く	・3人の筆者が、環境問題を解決するために、今、何が必要だと考えているか、それぞれの提言の要旨をまとめる。 ・提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどを、自分の経験や読書などで得た知識と照合して吟味し、評価する 絵はがきと電子メールなどの、それぞれの特徴を理解する。	○	○	○	・一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 ・観点を決めて文章を比較したり、自分の知識や経験と照合したりしながら批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について考えている。 ・文体や表現技法などを検討したり、自分の意見を支える根拠となる資料を引用したりして、文章表現を工夫している。 ・語句や表現に着目したり、言葉の響きやリズムを味わったりしながら詩に描かれた情景や心情を想像している。	
	1 1 月	いにしへの心を受け継ぐ ・和歌の世界 ・古今和歌集 仮名序 ・君待つと一方葉・古今・新古今 ・夏草―「おくのほそ道」から ・つながる古典 ・古典名作選 ・和歌の表現技法 ・俳句と俳句 書写 (1) ・効果的に書く	・古典の言葉を引用して、メッセージを書く。 ・古文の言葉の響きを味わう。 ・和歌に表れた心情や情景を読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・古典に描かれた人の生き方や考え方を知る。 絵はがきと電子メールなどの、それぞれの特徴を理解する。	○	○	○	・古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くことができる。 ・二つの和歌の歌を音読したり、比較したりして、そこに詠まれた情景や心情を想像している。 ・現代の価値観と比較したり、作者が感動した歴史的背景を確かめたりして、作者のものの見方や感じ方について考えている。 ・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むことができる。 ・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。	
	1 2 月	価値を生み出す ・それでも、言葉を ・話し合いを効果的に進めよう ・季節のしおり 冬 ・漢字のまとめ ・漢字に親しもう ・合意形成に向けて話し合おう ・いつも本はそばに 本は世界の扉 書写 (1) ・生活を豊かにする文字	・人物の生き方や考え方に触れ、考えを深める。 ・読書への興味を持つ。 ・学習したことを生活に活かす。	○	○	○	・抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を辞書などで確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。 ・文章を多角的に検討したり、例証や反証を試みたりして、筆者の考えについて理解を深めている。 ・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。 ・合意形成に向けた話し合いを効果的に進捗するための工夫について考えている。 ・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。	
3 学期	1 月	未来へ向かって ・温かいスープ ・アラスカとの出会い 書写 ・生活を豊かにする文字 (1)	・ものの見方や考え方を深める。 ・作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、生き方を考える。 ・三年間の漢字の総まとめとして、漢字の意味や読み方などについて調べ、適切に使い慣れる。 ・これまで書写で学習したことを活かして、定められた書式に書く。	○	○	○	・文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 ・筆者の人生において、本との出会いがどのような意味をもっていたのかを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 ・文章から読み取った筆者のものの見方・考え方や、友達との交流を受けて、自分の生き方について考えをまとめている。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・書写作品
	2 月	・律儀な桜 ・わたしを束ねないで ・漢字に親しもう 5 書写 (1) ・生活を豊かにする文字	・文章を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。 ・複数の文章を読むことを通して、語彙を増やし、語感を磨く。 ・書写の学習を活かして、自分の思いを込めた文字を書き、卒業作品を制作する。	○	○	○	・桜を巡る筆者の経験や考えを読み取ったり、読書が人と自然について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 ・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会と人間、自分の可能性について考えている。	
	3 月	・三年間の歩みを振り返ろう ・初日	・文章を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。 ・複数の文章を読むことを通して、語彙を増やし、語感を磨く。	○	○	○	・自分で設定したテーマと内容、目的に合う文章の種類を検討している。 ・自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、場に応じて工夫しながら話している。	

※ 指導計画には言語事項の「書写」を含みます。

※ 生徒の習得状況に合わせて、教材の順番を入れ替えて学ぶ場合や、補助・発展教材を使用する場合があります。

※ 教科書と副教材を取り扱う割合は、教科書1.5に対して副教材1の割合です。